

令和２年度事業報告書

(公益目的支出計画継続事業１)

１．スポーツ振興事業

(１) 新庄市総合体育大会

新庄市の委託を受け、新庄市総合体育大会実行委員会を組織し、第４２回新庄市総合体育大会を開催した。

開催は体育協会から実行委員会に委託費全額を交付し、競技団体と体育協会が例年８月から２月までに１４競技で大会が実施してきたが、昨年度は４月以降新庄最上地域における新型コロナ感染者などがあり、また全国的な感染拡大防止のため７競技種目で開催中止となった。開催した７競技種目においては、感染防止対策を講じながらの運営となり、参加者総数が１，０１０人にとどまり、台風や雪不足で大きく減少した昨年度より▲３４８人、一昨年度比▲８７１人と大きな減少となった。また、参加団体への支援としての実施競技団体への交付金（「２万円＋参加者一人当たり１００円」）の額も昨年より減少する結果となった。

競技種目	開催期日	会場	参加選手数
バレーボール	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
サッカー	R 2. 1 0. 11, 18	八向運動公園 新庄市体育館	2 6 8
	R 3. 2. 1 1		
柔道	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
野球	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
ソフトボール	R 2. 9. 2 7	福田運動公園グラウンド	2 0
弓道	R 2. 9. 2 2	新庄市武道館弓道場	2 2
剣道	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
空手道	R 2 . 1 0. 1 1	山屋セミナーハウス	5 6
バドミントン	R 2 . 1 0. 1 1	新庄市体育館	1 9 2
ソフトテニス	R 2 . 1 0. 10～11	新庄市体育館	1 6 7
合気道	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
卓球	R 2 . 1 1. 1 4	新庄市体育館	1 3 9
バスケットボール	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		
スキー	実施を計画したが、コロナ感染防止のため中止。		

◇要した経費 新庄市総合体育大会実行委員会負担金 915千円

《成果と課題》

- ・新型コロナ感染拡大の影響から体の接触機会が多い種目を中心に開催中止となり、実施を計画した半数の７競技のみの実施となった。また、実施団体においても感染対策を講じながらの競技運営を強いられるなど、この総合体育大会が始まって最も厳しい環境での大会となった。
- ・その中で、感染者を出すことなく、幅広い年代の参加者が練習成果を競い合う数少ない機会を提供できたことは、競技団体や参加選手のインセンティブの維持向上につながる成果を得られた。また、中止せざるを得ない競技団体においても、感染防止のための決断と最後まで開催に向けて努力された熱意には、心からの感謝を送ります。

(2) こども・はばたき事業

■幼児期からのＡＣＰの推進

子供のからだやスポーツを巡る体力低下や運動離れの問題は、新庄市の子供も同様です。運動能力の低下や格差は、「外遊び」の減少が一番の原因として考えられており、室内遊びが増加、公園では球技が禁止などから外で遊ぶ相手もいないのが現状です。

そのため、新庄市体育協会は、こどもの時期によく遊び、よく運動して体の動かし方を身に付け、その気持ちよさを感じ取ることが、その子が生涯を通じて運動を取り入れた健康的な生活につながると考え、幼児期からのＡＣＰ（アクティブ・チャイルド・プログラム）の推進に取り組みました。

■日新はばたきクラブ

日頃運動する機会の少ない子供（スポーツ少年団未加入等）を対象に、スポーツに親しむ環境づくりのため、平成２９年度から日新小学校の協力を得て同校３・４年生児童を対象に「日新はばたきクラブ」を立ち上げ、活動を始めました。活動内容は、指導員が下校後の学校体育館で様々な「遊び方（ちょっと工夫した「鬼ごっこ」などの子供遊び）」を提供し、子供たちに思いっきり体を動かし、運動することの楽しさを感じてもらう事を主眼にした活動で、２週に１回、１回９０分程度で活動してきました。

令和２年度は、活動を制限されたこのような時期にこそ提供したい運動機会でしたが、日新小学校と協議し、新型コロナ感染対策のため前期（６月～７月）の活動は休止としましたが、後期は学校の理解と協力を頂き９月から２月まで計画通りの活動を行うことができました。

また、令和２年度からは協会職員のほかに、趣旨にご賛同いただいた市スポーツ指導員と外部指導員の合計６名の方からなる協力体制を整えることができた。

[活動概要]

- ①クラブ会員数 新庄市立日新小学校３・４年生 １４名
- ②入 会 費 １，０００円（活動期間短縮により２，０００円を減額）：月会費３００円
- ③活 動 日 程
通常活動：９月～２月：水曜日午後４時から５時半・・・１４回
親子活動：１０月３１日（土）、２月２７日（土）・・・２回
- ④活動内容
運動３要素（走・跳・投）中心の運動遊び
広報活動として「はばたき通信」を発行し、保護者と学校の密な連携を図った。
- ⑤指 導 新庄市スポーツ指導員・新庄市体育協会指導員及び事務局員
外部指導員５人

■その他計画事業 指導者養成のための研修会、最上地域子育て連携事業・・・中止

《成果と課題》

参加児童は走り回るプログラムへの期待が大きく、昔ながらの遊びをやりたがり、元気で笑顔いっぱい動き回る子ども本来の姿が見られた。子供たちからは、活動の日が「楽しみ」という声を多く聞き、父兄からも高評価であった。また、コロナ感染予防の徹底が例年のインフルエンザ感染が出ない副次的効果も見られた。

体制的には、ＡＣＰの訓練を積んだ職員の他、外部指導員の協力体制を整えることができ活動の充実と今後の広がりにも展望を持つことができたことは、今後さらに活動範囲を広げ、楽しみながら体を動かす機会を少しでも多く提供できるよう図る。

また、親子が一緒にスポーツに親しむ機会は多いとは言えない中で、「親子でスポーツ」を中止せざるを得なかったことや研修会を開催できなかったことは残念であった。

◇要した経費 はばたき事業 ２３２千円

(3) 自主事業の実施

① 健康ウォーキング

健康の維持増進を目的に、ウォーキングが習慣となるよう「ウォーキング日誌」を体育施設や他の市施設に配置し、意欲を持って取組もうという市民に、自分で設定した目標歩数、年間50万歩、100万歩、200万歩の挑戦コースを設定し、完歩者に認定証を交付した。完歩の申請数は少ないが、取り組む市民の広がりを期待できる。

参加者の中には10年継続の方もおり、季節の変化を見ながら歩くことが楽しい、歩くことの効果を実感しているとの感想が寄せられている。

・完歩達成者

(H27)17人 (H28)16人 (H29)16人 (H30)13人 (R元)14人 (R2)11人

② あべじゅ〜体操

50歳以上を対象に、介護予防を目的に考案された「いきいき百歳体操」とストレッチ、軽い筋肉体操を取り入れた「あべじゅ〜体操」を6月(4月、5月はコロナ感染者発生のため休止)から、参加者の自主性を尊重しながら実施した。

実施回数68回(90回)・参加者数 延べ694人(863人)

一回平均参加人数10.2人(9.6人) ()内は前年度実績

内 容 週2回、いきいき百歳体操を中心に30分〜40分

成 果 等 昨年度比で実施回数、参加延べ人数は減少しているが、一回当参加者数が増加している。参加者の意欲、ニーズが高いことが窺える。また、参加者からは息切の改善や足腰の機能維持等の成果とともにコロナ禍の中で外出・会話することで気分が良くなったなどの評価を得られた。



③ エアバレーGAME in新庄

目 的 運動不足になりがちな働きざかり、子育て世代を中心に遊びながら思いっきり体を動かす機会を提供し、体を動かすことの楽しさ、爽快感を感じることで心身の健康増進を図ることを目的に実施した。

内 容 ビニールボールを使用したバレーボール形式のゲームを実施。「楽しむ」運動を第一にハロウィンの仮装参加を促し、コロナ感染対策として1セット12ポイント制の3セットマッチで時間短縮を図って実施した。

期日場所 令和2年11月3日(火・祝日):市体育館

参加者 19チーム(2増)・139人(15人増)

成 果 等 コロナ禍の中参加団体数、参加人数が前年度を上回ったのは予想外であった。検



温、消毒、ソーシャルディスタンス、換気の感染対策を講じたうえで、市スポーツ推進員5人の協力を頂きスムーズな大会運営ができた。郡外の参加が減少した一方で郡内の参加が増え参加者数に繋がりを、参加者からは楽しみながら運動できたことで高評価を得られた。

④ トランポビクス教室

目 的 健康の維持増進を目的に、新しく楽しみながらできる運動の機会を提供する。

内 容 トランポビクス:個人用小型トランポリンを使って、講師の指導の下に、音楽に合わせたリズムカルな運動を行った。

期日場所 令和2年9月21日(月)・22日(火) 両日とも祝日 すぽーていあ

参加者数 41名

成果等 新しく、あまりなじみの器具・ミニトランポリンを使って歩きを中心にしたエクササイズで、沓澤講師のユーモアいっぱいの指導と軽音楽に乗って楽しく体を動かせたと参加者から好評を得た。見た目より運動量が多いという感想もあった。

⑤ 第2回マジカルスノーランド

目的 小さな子の親子を対象に、不足しがちな降雪期における運動機会の提供とスキー場に幼いうちに親しみを持って、雪に親しんでもらうことを目的に開催した。

開催日時 令和3年2月28日(日)：スキー場営業最終予定日（営業延長となった）

参加人数 200名（親子約90組）

内容 宝探し 雪玉ストラックアウト 雪上かるた 雪上綱引き スノーフラッグ

成果等 冬の好天日となり、多くの親子参加を得て予想外の人出であった。検温、消毒を徹底し、関係事業者の協力（商品提供と露店の出店等）を頂き、大いに賑わったイベントとする事ができ、所期の目的を十分に達成できた。また、市民スキー場が冬の身近なスポーツ・レジャー施設としてPRを工夫し、新たな事業展開することで利用増につながる展望を持つことができた。



⑥ 実施できなかった事業・イベント

青空ヨガ・サッカーフェスティバルは、コロナ感染対策により開催中止した

◇要した経費 市民スポーツ事業 166千円

(4) 広報活動

◇要した経費 広報事業 614千円

	発行月日	主な内容
No.29	R2.7.27	6月発行予定を中止し、29号を7月に発行した。 ・体育協会の新役員（評議員・理事・監事）紹介 ・イベント・事業のおしらせ、施設利用の留意事項 ・市民プール開設中止・コロナ疲れを吹き飛ばすストレッチ体操 ・北郡信用組合からスポ少にテント寄贈
No.30	R2.10.26 オールカラー	・特集 利用団体紹介（新東バドミントン部・弓道連盟） ・最上地区中学校総合体育大会・同新人体育大会優勝校（者） ・最北地区高等学校新人大会優勝校（者） ・スポーツの秋（トランポピクス教室・市民球場トレーニング室） ・車椅子専用駐車場の塗装ボランティア ・歩こっ！歩こっ！ 陣峰市民の杜
No.31	R2.12.11 オールカラー	・2020-2021 SEASON 市民スキー場情報（料金表・営業日・営業時間・マジカルスノーランド・施設案内） ・2020エアバレーGAME in 新庄
No.32	R3.3.25 オールカラー	・令和2年度新庄市・体育協会体育表彰式 ・体育表彰者 ・新庄市総合体育大会結果一覧 ・スポ少団員紹介（新庄ソフトテニス・二戸来夢さん） ・健康ウォーキング継続10年 ・マジカルスノーランド開催報告 ・市民スキー場利用者の声

《成果と課題》 5回発行を計画したが、施設利用制限等によりイベント・大会数の減少、利用制限から4回の発行となった。例年、全国で活躍する新庄ゆかりの選手を紹介してきたが、開催中止が続き掲載できなかったのは残念。しかし、最上郡内等身近な大会を掲載で、また体育表彰受賞者や競技スポーツ・軽スポーツに取り組む多くの市民を紹介し、生涯スポーツへの関心を高める努力をした。

昨年一年は、新型コロナ感染対策で行動が制限され、スポーツや体を動かすことの重要性が再認識されている中で、スポーツ情報や運動する場所の提供者として身近ないきいきとした情報提供になお一層努力します。

◇要した経費 広報事業 614千円

(5) 賛助会員(スポーツサポーター)制度

令和2年度は、会費をお願いできる経済環境ではないと判断し、会員募集を行わず、繰越金の事業への充当も行わなかった。

《令和2年度収支決算》

◎収入	繰越金	153,920円	
	受取会費	0円	計 153,920
◎支出	充当額	0円	◎収支差引残 153,920円

《1-2》育成強化、競技力向上に関する事業

(公益目的支出計画継続事業2)

(1) 育成強化事業

令和2年度は、競技団体9(増減0)・学校体育団体1(1団体減)、計10団体(1団体減)に対し育成強化事業費を交付した。コロナ感染対策により計画通りに進められず、空手道、柔道、ソフトテニス及び中体連から交付金の一部返還がありました。

競技種目名	交付額	返還額	強化事業の内容
空手道	150,000	24,206	基本動作・形・組手講習会／県トップアスリート強化事業への参加／天童高校空手部強化練習会への参加
柔道	150,000	150,000	中止
弓道	150,000	0	強化練成会／弓道教室開催／指導者講習会
剣道	150,000	0	強化練成会／高校生講習会／指導者講習会／弓道教室
サッカー	150,000	0	新庄トレーニングセンター開催／指導者養成
スキー	150,000	0	ジュニアスキーレッスン／ジュニアスキーバッジテスト
自転車	150,000	0	遠征強化育成練習(秋田県美郷町・酒田～鶴岡ロード)
バドミントン	150,000	0	基礎強化／実践強化練習会
ソフトテニス	150,000	41,840	強化練習会
市中体連	140,000	28,567	空手道・バドミントン・サッカー強化練習会
計	1,490,000	244,613	確定交付額＝1,245,387円

◇要した経費 競技団体育成強化事業費 1,250千円

《成果と課題》

・いずれの団体においても、コロナ感染対策と活動に悩んだ一年であり、計画した強化事業ができずに4団体が事業費を返還した。特に体を接触する種目では厳しい活動の抑制が行われた。コロナ感染上のトラブルなく活動できたのは、各競技団体における感染防止への努力によるものである。しかし、新年度においても活動の抑制が余儀なくされる中、選手のメンタル面でのケア、ヤル気の維持向上をどう支えるのか大きな課題である。

(2) スポーツ少年団育成事業

◇令和2年度登録状況

			H 3 0	R 元	R 2
単位団			3 3 団	3 4 団	3 2 団 (▲ 2)
団 員	小学生	男	3 2 2	3 2 0	2 9 2 (▲ 2 8)
		女	1 7 7	1 8 6	1 6 7 (▲ 1 9)
		計	4 9 9	5 0 6	4 5 9 (▲ 4 7)
	中学生以上	男	2 4	3 5	4 2 (7)
		女	2 8	3 5	4 4 (9)
		計	5 2	7 0	8 6 (1 6)
	計		5 5 1	5 7 6	5 4 7 (▲ 3 1) (内高校生 2)
指導者	認定員有資格者		1 5 7	1 5 8	1 2 6 (▲ 3 2)
	資格なし		3 5	3 1	1 5 (▲ 1 6)
	スタッフ				3 8 (3 8)
	計		1 9 2	1 8 9	1 7 9 (▲ 1 0)

令和2年度競技種目別登録団

1. バスケットボール (6団・141人)

- ①萩野ミックスビッキーズミニバスケットボール
- ②日新ミニバスケットボール
- ③八向
- ④新庄ミニバスケットボール
- ⑤萩野 MBS
- ⑥明倫バスケットボール

2. 軟式野球 (4団・81人)

- ①日新レッドスターズ
- ②新庄ビクトリーパワーズ
- ③萩野フルスイングス
- ④明倫グリーンベレーズ

3. ソフトテニス (2団・25人)

- ①新庄ソフトテニス
- ②新庄ジュニアソフトテニス

4. 柔道 (4団・43人)

- ①日新柔道
- ②新庄地区柔剣道錬成会
- ③丹野道場
- ④神室柔道

5. 陸上 (1団・10人)

- ①SMAC

6. バドミントン (5団・94人)

- ①沼田バドミントン
- ②日新バドミントン
- ③新庄バドミントン
- ④奥羽ジュニアバドミントンクラブ
- ⑤MSC

7. サッカー (3団・76人)

- ①泉田サッカー
- ②日新サッカー
- ③新庄グランツSC

8. バレーボール (3団・16人)

- ①日新白鳩バレーボール
- ②新庄なでしこバレーボール
- ③MBSバレーボール

9. 剣道 (2団・25人)

- ①新庄地区柔剣道錬成会 (柔道と複合)
- ②東山錬成会

10. 空手道 (2団・25人)

- ①新庄市空手道
- ②萩野空手道

11. ソフトボール (1団・10人)

- ①リトルスラッガーズMSC

〈会議〉

①本部員会の開催

第1回本部員会 書面決議 令和元年度事業報告、役員改選の特例・事業計画

第2回本部員会 書面決議 役員改選・令和3年度事業計画・規程改正

②正副本部長会議（運営委員会合同会議）

第1回 令2.6.12（本部員会の書面決議・付議事項・規程改正他）

第2回 令3.1.22（スポ少結団式・令和3年度事業計画・役員改選）

第3回 令2.1.24（役員任期の特例・指導者協議会役員・令和2年度事業計画）

〈行事〉

①新庄市スポーツ少年団結団式及び地域貢献活動「スポGOMI in 新庄」

・・・・・・・・・・新型コロナ感染対策により中止

②スポーツ少年団育成助成金 32団体に一団につき2,000円の育成助成金を交付した。

③山形県少年少女スポーツ交流大会：10月4日の予定・・新型コロナ感染対策により中止

④山形県スポーツ少年大会・Jrリーダースクール

8月7日～9日の予定・・新型コロナ感染対策により中止

⑤指導者・育成母集団研修会

11月14日新庄市民プラザで開催（新庄市から正副本部長・事務局員4名）。

出席者95名：新庄市スポ少から3団の代表4名

◇要した経費 900千円

（内訳） 山形県本部登録料578千円／各団への活動助成金64千円／県スポ少最上地区協議会負担金27千円／本部事務費231千円

《成果と課題》・結団式からほぼ全事業が新型コロナ感染対策により計画中止となった残念な1年であった。団数、団員数ともに漸減となったが、団数は「明倫学園」開校に伴う団の統合によるもので、団員数の減少は少子化の影響、コロナ感染による団活動の抑制が反映されたものと考えられる。また、認定員有資格者数の減少は、指導者登録制度の変更に伴うもので、新制度移行期間の経過措置として新制度に未登録者について、「スタッフ」として新規38人が登録されたものである。指導者等の総数は前年度比▲10人となった。今後も新登録制度移行の周知に努力する必要がある。

（3）中止した強化育成事業

①からだづくりセミナー「運動神経を鍛える体幹トレーニングスポーツセミナー」

②野球教室事業

③北都銀行バドミントン教室（最上地区体育協会連絡協議会と共催）

上記3事業はコロナ感染対策（講師が感染拡大地域からの派遣等であったこと、感染拡大時期）のため中止した。

（4）体育表彰事業

表彰規程に基づき、スポーツ普及振興に功績のあった方（スポーツ振興功労賞）、各種競技大会において秀逸な成績を収めた方（殊勲賞・奨励賞）を表彰した。

表彰式は、新庄市と合同で令和3年2月13日（土）、市民プラザ大ホールにおいて開催し、73人の個人（表彰式後を含む）、5団体を顕彰した。

受賞者については体協広報3月号で広く市民に紹介した。

〔功労関係〕スポーツ振興功労賞 2名

〔成績関係〕殊勲賞 24名（一般・大学生2・高校生2・中学生2）

2団体（高校2）

飛翔賞 49名（高校11・中学生5・小学生11）

3団体（高校2・中学校1）

◇要した経費 95千円（内報償費83千円）

《成果と課題》 スポーツ活動が抑制される中、県・全国規模の競技会がほぼ開催中止となったことから被表彰者の対象が極端に少なくなった。それでも、表彰式における受賞者とその家族の喜ばしい表情が多く見て取れ、顕彰することが少しでも競技者の励みに繋がれば有意義である。

《1-3》新庄サイクルスポーツセンター管理事業

（公益目的支出計画継続事業3）

令和元2年度は、環境維持の作業としてフィールド内のフェンスの蔦除去、草刈を行った。また、3.11東日本大震災で生じたバンクの亀裂の状況確認を行い、昨年と変わらない状況を確認した。

◇要した経費 232千円



【平成31年3月31日廃止に至る経過】

東日本大震災により走路の一部が崩落し、平成25年7月末から貸出し休止とし、以後平成28年度に改修に向けて動き始めたが、崩落箇所の地質が軟弱であることが判明し、現所在地での改修工事を断念せざるを得ないと判断した。平成30年度まで施設内への立ち入り禁止措置、除草等の環境維持の作業に努めてきたが、理事会及び評議員会において「新庄サイクルスポーツセンターの平成31年3月31日廃止と減損損失」を決定し、同年度末14,708,756円の減損処理を行った。その結果、施設の残存価格は12円である。

２．施設管理事業

《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業

- １．新庄市の指定管理者として、次の１０のスポーツ施設を下記のとおり管理運営した。
◇市体育施設の利用状況一覧

施設名	項 目	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	令和２年度
体育館	利用人数	46,468	36,839	34,673	25,383
	料金収入	3,493,015	3,367,475	1,718,780	1,062,020
市民球場	利用人数	25,584	27,006	28,769	19,086
	料金収入	2,599,040	2,371,400	2,483,110	1,280,850
武道館	利用人数	12,646	12,800	12,894	9,476
	料金収入	1,228,940	1,207,470	1,171,660	659,435
陸上競技場	利用人数	10,792	11,932	15,553	9,464
	料金収入	330,315	401,930	517,785	207,935
東山テニスコート	利用人数	16,756	15,932	16,279	10,858
	料金収入	2,063,700	2,057,500	2,116,400	766,510
福田テニスコート	利用人数	997	669	469	39
	料金収入	11,200	10,800	11,800	4,900
福田運動広場	利用人数	4,180	3,789	3,212	3,212
	料金収入	267,150	374,180	284,870	55,790
横根山運動広場	利用人数	339	393	82	235
	料金収入	13,600	17,000	4,250	0
市民プール	利用人数	3,752	4,715	4,343	0
	料金収入	444,410	586,500	565,580	0
市民スキー場	利用人数	10,658	9,930	1,334	9,868
	料金収入	4,360,750	4,084,200	317,500	3,879,200
総 計	利用人数	132,172	124,005	115,838	87,566
	料金収入	14,812,120	14,489,455	9,191,735	7,916,640

(利用増減)

新型コロナウイルス感染対策により施設利用の中止や制限により、利用者数、利用料金はともに極端に減少し、第１四半期の前年度比では利用料金▲82%、▲2,430千円と、利用人数では▲78%、▲22,824人となった。以後、新庄最上地域における感染状況が落ち着いてくるとともに回復傾向が顕れてきた。特に第４四半期になると利用料金額は平年水準（利用料金改定の影響を除いた水準）を回復した。特に市民スキー場は、新型コロナ、料金改定のマイナス影響を全く感じさせない利用状況であり、利用人数、金額とも小中学生が有料であった平成30年度水準となった。その要因は、コロナ感染防止対策を徹底したことは当然であるが、降雪量が充分であったこと、２月以降の天候が安定していたことに加え、料金改定により利用し易くなった小中学生に同伴する親の利用が増加したなどが挙げられる。

○施設全体の利用人数の状況 前年度比約２５％減少となったが、年度当初の施設利用の停止期間、その後の利用制限による各種大会の中止や交流自粛が影響し、利用人数は大きく落ち込む結果となった。また、大会中止は施設利用者の減少ばかりではなく、来場者の減少にもつながり、賑わいの少ない一年となった。

その一方で地域内の定期利用は堅調であり、運動、スポーツに対するニーズの高さを実感することができた。

○利用料金額 予算編成時に料金改定の減収影響を約 40%減で 7,739 千円（指定管理料算定見積額）と見込んだが、コロナ感染対策の影響が加わり、この見込みを大幅に下回るものと懸念した。第 3 四半期までは各施設の利用も見込みを下回る結果となったが、第 4 四半期に入り各施設ともほぼ見込み水準までに回復した。特に市民スキー場の利用が大きく影響し、見込を超える実績を確保することができた。

市体育施設指定管理の収支は以下のとおり。

収 入		支 出	
指定管理料収入	101,582 千円	施設管理経費	107,817 千円
利用料金収入	7,917 千円		
【収入合計】	109,499 千円	【支出合計】	107,817 千円
【収支差引】	1,682 千円		

2. 指定管理業務の主な業務

- ①施設の使用許可、取消し、その他使用に関する業務
- ②利用料金の徴収、還付、減免に関する業務
- ③使用者の利用調整に関する業務
- ④使用者の安全確保に関する業務
- ⑤施設使用案内、業務の周知等、施設の使用促進に関する業務
- ⑥施設使用に関する統計記録事務
- ⑦施設並びに設備及び備品の維持管理・運営に関する業務
- ⑧行為の許可、使用の禁止または制限に関する業務

3. 施設管理にあたっては、特に次の点を重視した。

- 多くの施設が経年劣化などのため修繕すべき個所を抱えている状況にあり、定期的な点検を実施後市に報告し、必要な注意表示など利用者の安全確保に配慮した。
- 災害・事故発生時に的確に対応できるようマニュアルを作成し、避難訓練を実施した。また、日常業務におけるヒヤリ・ハット情報を職員間で共有し、事故防止に努めた。
- 各施設年 2 回の使用調整会議を行い、使用団体の事前希望をもとに案を示し、各施設の使用を円滑に調整するとともに、利用団体の声を聴取した。
- 施設利用者の要望・意見・苦情には、必要に応じて市の助言を得ながら誠実に対応した。
- 施設内はもちろん建物周辺の環境整備に努め、利用者が気持ちよく利用できるよう努めた。
- 来客や施設利用者には、正確で分かり易い説明、誠実、丁寧な対応を職員全員が心掛けた。
- 毎週職員連絡会議で染防止対策の周知徹底と施設利用者への対応を確認した。



《2-2》山形県最上中央公園指定管理事業

- 平成27年度から29年度までの3年間、山形県の指定管理者として最上中央公園（すばーていあ含む）を適切に管理し、その実績をもとに平成30年度から令和3年度までの4年間で二期目の指定を受け、2期目3年目の令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止に対応して利用者の安全確保、利用者の利便増進に努めた。

◇すばーていあ利用状況・指定管理概要（利用人数は有料施設利用者のみ）

項 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用人数	24,942	22,386	19,104	12,679
料金収入	3,242,260	3,018,120	2,963,075	2,691,430
指定管理料	19,936,000	21,452,000	22,528,000	21,845,000
その他の収入	608,500	758,291	614,055	407,405
管理経費	23,897,390	24,876,435	23,456,163	26,481,185
収支差引残	▲110,630	351,976	2,648,967	▲1,537,350

令和2年度は、市の施設同様に年度当初に施設閉鎖の措置（これに伴う減収補填96千円）がとられたほか、利用団体やスポーツ競技団体の利用自粛などにより、利用者数、利用料金ともに大きく落ち込む一年となった。第1四半期（4～6月）は、前年度比で利用人数▲83%、利用料金▲78%の大きな減少となり、第2四半期（7～9月）以降徐々に利用が増え、利用人数で▲37%、利用料金で▲26%まで回復した。さらに第3四半期はほぼ前年度水準にまでに回復したが、第4四半期に入り人数及び料金額ともに減少する結果となった。年間では上表のとおり、人数で▲6,425人・▲34%、料金額で▲271,645円・▲9%となった。なお、人数の減少割合に比べ、料金額の減少割合が低いのは、感染対策に配慮し多人数利用が大きく減少したためと考えられる。また、収支差引で大きくマイナスとなったのは、上記の利用料金収入の減少、指定管理料収入の減少、自動販売機収入が利用者の減少とともに減少し、収入総額では▲1,161千円となった一方で、支出面においては委託料2409千円増（除排雪委託1,010千円・芝生管理委託1,030千円増）、人件費（期末手当）増等により3,025千円増となったことによる。

- 自主事業：最上圏域住民からより親しまれるよう自主事業を計画したが、コロナ感染防止対策のためほとんどを中止せざるを得なかった。

①実施した自主事業

■花と緑のまちづくり「せせらぎ花壇」植栽事業

〔日時〕 令和2年5月31日（日）9:00～

〔場所〕 最上中央公園「せせらぎ花壇」

〔参加〕 参加団体23 人数88

〔内容〕 市民会議事務局とともに花壇への植栽を行い、年間を通じて花壇管理を実施するが、その負担感から参加を見送った団体があり、参加団体数が減少した。開会セレモニーを開かずに実施した。

■ジェルキャンドルワークショップ

〔日時〕 11月23日（土）10：00～12：00

〔場所〕 最上中央公園「すぽーていあ」

〔内容〕 透明ジェルで固めたキャンドル制作

〔講師〕 日本ボーグ学園キャンドルマイスター

井上 圭子氏（新庄在住）

〔参加数〕 20名

〔成果等〕 募集定員を満たす申し込みがあり、参加者から「花いっぱいを使い、きれいで面白かった」と高評価を得られた。

② 中止した事業

■スポGOMI in 新庄 ■SKATE JUNKIE ■かむてんサッカーフェスティバル

■ハンギングバスケット講習会 ■タグラグビーをやってみよう

3. 他団体への協力

①第49回新庄雪まつり

親しまれる最上中央公園のPRを兼ね、平成29年度から最上中央公園に会場を移したことを契機に、主催者の協力団体として会場管理に携わった。

実施日 令和3年2月13日～14日 場所 最上中央公園

主催者 新庄青年会議所 入場者 約1.1万人（主催者発表）

②雪国ワンダーランド

雪を観光資源として、スノーモビルで「バナナボート」をけん引して、乗車体験を通じて冬季の公園の利活用を図った。コロナ禍の中、インバウンドでの外国人利用は無く、ほとんどが最上地域在住者若しくは市内小学生である。

実施日 令和3年1月16日～2月28日 場所 最上中央公園

主催者 新庄市グリーンツーリズム推進協議会 利用者 4,045人

《2-3》新庄市都市公園管理事業

新庄市から委託を受け、次の30カ所の都市公園を適切に管理した。

最上公園 東山公園 歴史センター脇広場 八幡公園 福田緑地 中央公園
金沢公園 末広公園 足達前公園 常葉町公園 谷地田公園 下田公園 新町緑地
中道公園 千門町公園 沼田公園 中の川公園 金沢東公園 小檜室1号公園
小檜室2号公園 横町緑地 玉の木緑地 上金沢緑地 往還東緑地 横根山工業団地緑地
新田川河川公園 駅前ふれあい広場 駅東口交通広場 泉田川河川公園 西山河川広場

公園業務内容一覧

	公園名	便所清掃（常時分）【週】	公園清掃【週】	パトロール 【週】	遊具施設日常点検【月】	東屋・照明・樹木等雪囲い、ネット設置・撤去【年】	便所雪囲い設置・撤去【年】	遊具設置・撤去【年】	噴水池清掃【年】	草刈り【年】	除草剤散布【年】	法面草刈り【年】	早朝清掃【年】	害虫駆除【年】	便所雪下ろし【年】	遊具・東屋・藤棚雪下ろし【年】	ゲート雪下ろし【年】	東ロアーケード・通路・レッドロビン剪定【年】	ツゲ・桐縁 藤剪定【年】	あじさい剪定【年】	プラタナス剪定【年】	砂場掘り起こし【年】
1	最上公園		2	2	1	2	2			4	2	4	12		2	2		1	1	1		2
2	東山公園	2	2	2	1	2	2	2		4					2	2		1		1		
3	歴史センター脇広場			2		2				4	1				1	2		1	1	1		
4	八幡公園			2			2								2	2						
5	福田緑地		2	2		2				3						2		1		1		
6	中央公園			2	1		2	2		5				1		2					1	2
7	金沢公園			2	1		2	2		5					1	2			1			
8	末広公園			2	1	2	2	2		5					2	2			1	1		2
9	足達前公園			2	1					3						2					1	
10	谷地田公園			2	1	2	2	2		4					1	2						
11	常葉町公園			2	1	2	2	2		4					2	2				1		2
12	下田公園			2	1		2	2		4					2	2			1			
13	中道公園			2	1	2	2	2		4	2				2	2				1		
14	千門町公園			2	1		2	2		4					1	2						
15	沼田公園			2	1	2	2	2		4				1	2	2				1		
16	中の川公園			2	1	2	2	2		4					2	2				1	1	
17	金沢東公園			2	1	2	2	2		4					1	2				1		2
18	小檜室1号公園			2	1	2	2			5					1	2		1		1		
19	小檜室2号公園			2	1	2	2			4					1	2		1		1		
20	玉の木緑地		1	1	1			2		2						2						
21	横町緑地					2														1		
22	上金沢緑地				1			2														
23	往還東緑地			1						1												
24	横根山工業団地緑地									1												
25	新町緑地									2												
26	駅前ふれあい広場	7	2	2		2	2		2	5	2		5		1			1	2		1	
27	駅東口交通広場		2	2						5	2		5				1			1		
28	泉田川河川公園			2		2	2								1	2						
29	西山河川広場	2	2	2	1	2	2	2		2					1	2						
30	新田川河川公園			2	1	2	2	2		2					2	2				1		
		11	13	50	20	36	40	32	2	94	9	4	22	2	30	46	2	8	5	16	3	10

委託料収入 18,625千円

◇要した経費 15,764千円 (内減価償却額1,418千円)

《2-4》新庄市公有財産管理事業

新庄市の委託を受け、4カ所の新庄市公有財産を適切に管理した。

仁間処理場跡地
ポリテクセンター跡地
萩野児童館跡地
福田中核工業団地未分譲地

委託料収入 3,184千円

◇要した経費 1,994千円 (内減価償却額57千円)

3. 法人管理事業

平成24年4月、新しい公益法人制度における一般財団法人となり8年が経過したが、令和2年度も、定款に定める「スポーツを通した豊かな市民生活の形成に寄与する」との組織理念に即し、スポーツ振興とスポーツ施設管理を一体のものとして、役職員が一丸となって適正かつ効率的に運営した。

①会議の開催

《理事会》6月3日・6月30日・10月16日・3月23日（4回）

《定時評議員会》6月30日

《評議員選定委員会》6月12日

《体育表彰選考委員会》1月15日

《スポーツ少年団本部員会》6月・3月に書面決議の方法により案件を決定

《強化事業費交付審査会》7月13日・8月6日

《三役会議》5月18日・8月6日・10月6日・10月16日・12月23日・3月5日

（計6回）

②評議員の選任 任期満了により、新に20名を評議員選定委員会で選任した。

③役員体制 任期満了により、新に理事15名、監事2名を定時評議員会で選任した。

理事会において、会長、副会長及び専務理事を選任した

④新型コロナウイルス感染防止対応

4/2 市内にコロナ感染者が出たことで同日から全施設の利用中止

新庄市教育長から4月3日～4月16日の臨時休館の指示

・以後5月17日まで延長指示

山形県最上総合支庁より4月3日～4月16日の臨時休館の指示有

・以後5月17日まで休館継続）

4/27～5/14 体育協会職員の在宅勤務実施

5/18～ 新庄市から施設利用の再開（小中学生は5月31日迄利用制限継続）

9/1 両立支援等助成金（小学校休業等対応コース）の交付申請

9/7 交付決定（18日4時間分148,273円）

3/29（処理） 山形県より、最上中央公園有料施設の感染防止対策による施設閉鎖に伴う減収補填96,000円の交付。

※各施設に体温測定器・消毒液を配置したほか、施設の除菌作業、利用用具の除菌を実施。

また、小中学生の一回利用時間を2時間以内に制限し、コロナ感染防止対策を実施した。

⑤諸規程の整備

《一部改正》 2件

・給与規程、臨時職員に関する規程

⑥経理

公益目的支出計画会計基準に則り、随時、公認会計士の指導を得て適正に予算を執行し、及び財産を管理に努めた。公益目的支出計画は、令和元年度事業の実施により計画年限より1年早く完了した。

施設使用料など公金取り扱いについて、処理手順の厳守、預金通帳・公印保管の徹底など適正管理に努めた。

⑦特定資産管理

- (1) スポーツ振興基金の活用を行わず、収支差引残額及び運用益は、基金の設置及び管理に関する規程第4条に基づき当該基金に繰り入れた。その結果、年度末の基金残高は以下のとおり。

スポーツ振興基金	6, 848, 986円	(前年度末比	582円増)
法人運営基金	14, 209, 933円	(前年度末比	2, 000, 833円増)

(2) その他の特定資産

退職手当引当資産 職員の退職金支払に備えるため、積み立て管理している。職員の退職金の資金は、職員の退職金に関する規程第5条第1項により加入している中小企業退職金共済制度の給付額と、当該給付額で不足する額を退職手当引当資産から補てんし給付することとなる。令和2年度は、資産の取崩しは無く、運用益を積立て年度末残高は以下のとおり。

退職給付引当特定資産 7, 224, 233円 (前年度末比614円増)

(3) その他の固定資産

建物、構築物は、サイクルスポーツセンターの廃止による有姿除却により備忘価格(残存価格12円)のみの額となった。また、使用の什器備品これを減価償却した結果、前年度期末帳簿価格と比較し、621千円減少した。

以上により、その他固定資産の合計価格は以下のとおり。

その他の固定資産 2, 855, 292円 (前年度末比▲621, 333円)

令和3年度 役員体制

理事 15 人 任期：令和2年定時評議員会終結時～令和4年定時評議員会終結 3.6.1

	役職	氏名	選出元団体・役職
1	会 長	山 科 通	新庄地区バレーボール協会会長
2	副 会 長	羽 賀 千 尋	新庄地区野球連盟副会長
3	副 会 長	吉 浦 一 幸	新庄市スポーツ少年団副本部長
4	専務理事	野 崎 勉	新庄市体育協会（学経）
5	理 事	元 木 啓 雄	新庄市スキー連盟会長
6	理 事	伊 藤 好 之	新庄市柔道連盟副会長
7	理 事	安 彦 隆 一	かむてんスポーツクラブクラブマネージャー
8	理 事	井 上 勝 人	新庄地区サッカー協会事務局長
9	理 事	齋 藤 和 彦	新庄地区バドミントン協会事務局長
10	理 事	長谷川 賢	新庄ボクシング協会会長
11	理 事	高 橋 研	新庄地区陸上競技協会副会長
12	理 事	竹 内 憲	新庄弓道連盟会長
13	理 事	佐々木 養 記	新庄地区卓球協会会長
14	理 事	柏 倉 正 人	新庄市バスケットボール協会事務局
15	理 事	伊 藤 圭 一	新庄市空手道連盟常任理事

監事 2 人 令和2年定時評議員会終結時～令和4年定時評議員会終結

1	監 事	高 橋 正 彦	新庄地区ソフトテニス連盟会長
2	監 事	吉 田 浩 志	新庄地区自転車競技連盟事務局長

評議員 20 人 任期：令和2年定時評議員会終結時～令和6年定時評議員会終結

区分		氏名	選出元団体・役職
体育協会 加盟競技団体	1	矢 口 敬 治	新庄地区野球連盟理事長
	2	高 階 寿 子	新庄地区ソフトテニス連盟理事
	3	泉 博 文	新庄地区自転車競技連盟理事長
	4	阿 部 太 悦	新庄ボクシング協会事務局長
	5	阿 部 文 男	新庄弓道連盟副会長
	6	西 田 昭一	新庄地区剣道連盟事務局長
	7	壹 谷 操	新庄市柔道連盟会長
	8	斎 藤 秀 二	新庄市スキー連盟副理事長
	9	丹 忠 一	新庄地区陸上競技協会理事長
	10	奥 山 貴 裕	新庄地区バドミントン協会競技・広報部長
	11	小 森 卓	新庄地区卓球協会理事兼事務局長
	12	矢 口 一 郎	新庄市ソフトボール協会理事
	13	武 田 徹 夫	新庄市武術太極拳協会会長
	14	田 中 幸 一	合気道新庄道場副道場長
地域 団体	15	大 場 和 夫	かむてんスポーツクラブ理事長
	16	森 富喜子	新庄市スポーツ推進委員協議会副会長
	17	元 木 真 澄	新庄市スポーツ少年団副本部長
学校 団体	18	門 脇 潤	新庄市中学校体育連盟副会長
	19	齋 藤 民 義	新庄市小学校体育連盟会長
学 験	20	山 科 雅 寛	新庄市健康推進担当課長